



正しい姿を知る

1月の学級タイムでやった「R-CAP」の結果が返ってきた。来週の学級タイムで返却して、それに伴う資料を使いながら、学部・学科、職業などについて学習することになる。

ちなみに、昨日の保護者の際に、保護者の皆さんに結果を先に見ていただこうかとも考えたのだが、やはりこれは君たち自身のデータでもあるので、いくら親とはいっても勝手に見せるのはいかなものか…と考えて止めておいた。ただし、こういう調査をしたことや、結果を来週の水曜日に返却すること、さらには、それをもとにして、少し進路について親子で考えていただきたいということは伝えてあるので、こういう機会に、友だちばかりでなく、ぜひ、親子で進路についても話し合ってみてほしい。進学の際、とりあえず金銭面で世話になることを考えれば、こういう相談をすることも、進路を考える中では必要な過程であると思う。

*

ところで、「学部・学科、職業に関する学習？」と思うかも知れないが、自分の知らない学部・学科や職業は山ほどあるわけだし、知っているつもりでも、例えば「経済学部と経営学部と商学部の違いをキチンと説明できますか？」とか、「電気工学と電子工学、建築工学と土木工学って、それぞれどう違うの？」とか言われたら、困ってしまう人がほとんどに違いない。

もちろん、それぞれの大学によってその学部で取り扱う内容が異なっていたりすることもあるわけだが、基本的に自分がどの分野を目指したいのかを決めるためには、やはり大ざっぱでもよいから、ある程度正確に各学部

・学科の内容を理解しておかないといけないのは当然だろう。

君たちに返却する結果には、「興味・関心からみた職業適性」として20分野の職業が、また「興味・関心からみた学問適正」として20の学部が打ち出されている。

そこで、今度の学級タイムでは、その打ち出された職業・学部のうちから、それぞれ3つ程度、興味・関心のあるものを選んでもらい、付属して配布する資料を使いながら、その職業や学部について調べてもらうという活動を予定している。職業については、123の職種が分類・紹介されており、学問については、28の学問領域と84の学部が分類・紹介されている。まずは、その名前を知るだけでも、今後のオープンキャンパス参加などの際に大いに役立つはずである。

*

「興味・関心からみた職業適性・学問適正」には、予想通りのものもあれば、意外なものもあるに違いない。もちろん、予想通りのものを調べてみることから始めるのがよいと思うが、実は大切なのは、予想外だったものの方かも知れない。「変な結果だ」と考えるのではなく、どうしてそういう結果になったのかを、職業・学問を調べながら考えてみるとよいだろう。自分では気づいていない特徴や傾向がそこに現れているのかも知れないし、実はその学問や職業の内容をあまり知らず、例えばテレビなどで見たイメージだけで考えているといった事例は案外多いのである。

というわけで、きちんとした基礎知識を身につけるべく、積極的に取り組もう。